

液体ねんどでTシャツの素材感をそのままに固めてみよう

Tシャツを固めよう

作品づくりのオススメポイント

- 水分が多く、なめらかなクリーム状なので手触りも楽しめます。
- 紙・布・ひも・ティッシュペーパーなどの柔らかい材料を紙ねんどのように固める事ができます。
- 乾燥後に水彩絵の具などで簡単に着色する事ができます。



用意するもの

- ドロリー (L)
- バケツ
- 段ボール
- レジ袋
- 長細いポリ袋
- 筆
- ねんど板



1



ドロリーで固めるTシャツを用意します。

POINT Tシャツのサイズは120cm程度のものを用意してください。

2



Tシャツの胴体に入る段ボールを丸めレジ袋を被せます。

POINT スーパーのレジ袋などを段ボールに被せると抜き取りやすくなります。

3



バケツにTシャツを入れて上からドロリーを注ぎます。

POINT バケツが無い場合は絵の具の水入れなどで代用します。

4



よくもんでTシャツにドロリーを馴染ませます。

POINT ドロリーの染みてない所がないようにしっかりとつけます。

5



ドロリーを馴染ませたTシャツを段ボールに被せます。

POINT ねんど板を敷いて、汚れないようにしてから被せましょう。

6



長細いポリ袋を袖に通して形を整えます。

POINT 傘を入れる長細い袋などで腕の部分の膨らみをつくりまます。

7



ドロリーの塗れていない部分は筆で塗り乾燥させます。

POINT 5日ほど自然乾燥させると紙ねんどのように固くなります。

8



乾燥後、段ボールと袋を外して完成です。

POINT 乾燥後、絵の具で着色して仕上げる事も出来ます。



※Tシャツ以外にも、靴下や上靴なども固める事ができます。